

事業番号	1	3	2
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	広報等作成事業					担当部	市長公室				
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降					担当課	広報広聴課				
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	31	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	02 総務費	項	01	目	05	大	03	中	01

2. 実施状況

<p>■平成30年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報こまきを毎月2回発行した。(平均発行部数:58,139部) ・市政カレンダーを発行した。(58,000部) ・市勢要覧を発行した。(1,200部) ・定住促進プロモーションパンフレットを作成した。(20,000部) (実計)市内小学4年生から中学生までを対象に、こども向け広報紙を9月と2月に作成・配布した。(9,500部) ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進めた。 (実計)市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努める。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所を取材し、広報こまきに掲載した。 ※実計はこどもレポーター ・定住促進ポスターを名鉄小牧線車両ドア横に掲示し、市の魅力をPRした。 ・市のPRビデオを作成し、公式YouTubeに掲載、公共施設に配布をした。
--

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	財源	千円	86,869	87,260	87,953
	一般財源	千円						
	国・県支出金	千円	0	0	0	421		
	その他	千円	0	0	1	1		
	計(A)	千円	86,869	87,260	87,954	89,657		
	対前年比	%	-	100.5%	100.8%	101.9%		
	(当初)予算額	千円	95,444	95,744	95,863	97,660	98,194	
人件費	正職員	人	2.6	2.7	2.5	2.5		
	正職員(平均人件費)	千円	19,464	20,212	18,715	18,715		
	その他職員	人	0	0	0.3	0.5		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	68	113		
	計(B)	千円	19,464	20,212	18,783	18,828		
事業費合計(C=A+B)		千円	106,333	107,472	106,737	108,485		
指標	成果指標	広報こまき毎号読んでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-
		実績		67.5	68.0	73.2	-	
	活動指標	広報こまき発行部数	目標	-	-	-	-	-
			実績		1,369,769	1,377,501	1,388,795	1,395,325
		こども広報発行部数	目標	-	-	-	-	-
			実績		-	-	-	19,000
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	-
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	-

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき
	<p>○事業費は、おおむね横ばいで推移している。平成30年度については、新たにこども広報作成事業を始めたため微増となっている。</p> <p>○成果指標の実績値は、上昇傾向であるが、近年、市民が情報を得る手段は多様化している。ホームページやSNSなど、さまざまなツールを使って情報を得ることが当たり前となる中、紙媒体の広報紙の閲読率を劇的に上昇させることは難しい。しかし、広報紙は行政にとって依然重要な情報発信手段であるため、一定の水準を保ちながら、読者層の拡大に努めることが重要である。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>上記のとおり、広報紙は行政にとって依然重要な情報発信手段であり、掲載記事の精査・充実を図るのはもちろんのこと、若年層に向けての、SNS (facebook、LINE等) 等を利用した周知を積極的にを行い、読者層の拡大に努め、より多くの市民に情報を発信していく。</p>				